

生活支援コーディネーターの役割

～住民主体の支え合い活動を推進します～

住民主体の支え合い活動による介護予防や生活支援の充実を図り、高齢者がいつまでも安心して暮らせる地域づくりを目指し、橿原市社会福祉協議会及び地域包括支援センターが“生活支援コーディネーター”として、住民主体の支え合い活動を推進しています。

1. 活動範囲

第1層（市全域）…橿原市社会福祉協議会 地域福祉係

第2層（日常生活圏域）…地域包括支援センター

2. 役割

地域住民や各種団体・関係機関とともに、住民主体の支え合い活動を支援し、地域における生活支援等のサービスの提供体制の構築に向けて、下記の役割を担います。

①地域資源の調査・周知

高齢者等の日常生活に役立つ情報を調査し、取りまとめて周知しています。

(1) 宅配や注文配達ができる

「買い物支援」

(2) 自宅でサービスが利用できる

「訪問理美容」

(3) 気軽に立ち寄りふれあえる

「地域の居場所」

②地域課題の把握・分析

地域に出向き、地域の強みや課題等を把握し、「町ごとのアセスメントシート」を作成しています。

シートをもとに、町の特性や課題を分析し、地域住民と共有を図っています。



③話し合いの場づくり

地域住民や関係団体に参加を呼びかけ、「生活支援地域ケア会議」を開催しています。

会議では、地域の現状や課題を皆さんと共有し、今後に向けて何が必要かを話し合っています。



④担い手の発掘・育成

高齢者の経験や特技等を地域の担い手として、活かせるようなきっかけづくりを推進しています。

また、「教室や出前講座」を実施し、支え合いや健康・福祉等についての情報提供を行い、意識啓発を図っていきます。